

各位

2026 年 10 月 5 日

セキ株式会社

TOKYO PACK 2026(2026 東京国際包装展) への出展について

～ 人と環境にやさしい印刷加工技術で実現するトータルパッケージソリューション ～

セキ株式会社(愛媛県松山市、代表取締役社長:関 宏孝)は、2026 年 10 月 14 日(水)～16 日(金)に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2026 東京国際包装展」に出展します。TOKYO PACK は、さまざまな業界で利用されている包装資材・容器、包装機械を中心に、調達から生産、販売、消費、廃棄・リサイクル、MH(マテリアル・ハンドリング)・物流に至るまでのあらゆる分野を網羅した日本と世界を繋ぐ国際総合包装展です。当社出展ブースでは、水性フレキソ印刷加工技術を用いた食品用パッケージなどを展示し、販路拡大を目指します。

[出展内容]

水性フレキソ印刷とノンソルベントラミネートを組み合わせた、食品用および日用雑貨用パッケージのサンプルを出展します。環境に配慮した印刷加工方式により、生産過程における CO2 排出量を 50%以上削減*できます。また、一部のサンプルには当社のデータ加工処理技術を用いた AR 演出を施しており、環境配慮とデジタル表現技術を融合したパッケージとなっています。さらに、当社伊予工場に新設した紙器パッケージ印刷加工設備およびクリーンルームに関する紹介資料も展示します。

*一般的に用いられる油性グラビア印刷+ドライラミネートで製造した場合との比較
一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)の算定条件に基づき試算

[出展サンプル品] ※一部

(AR 対応)

***水性フレキソ印刷とは**

ゴムや樹脂など弾性のある版を用いた凸版印刷方式で印圧が軽いのが特長。薄紙から厚紙、段ボール、フィルムなど幅広い素材に対応でき、凸凹のある和紙風の基材などにも印刷が可能。有機溶剤の含有量が限りなくゼロに近い水性インキを使用した水性フレキソ印刷は、食の安心・安全を考えるパッケージに最適です。

***ノンソルベントラミネートとは**

フィルムを貼り合わせる際に無溶剤の接着剤を使用することで、大気へ VOC(揮発性有機化合物)をほとんど排出しない環境にやさしいラミネートです。ドライラミネートと違い乾燥設備が必要ないためエネルギーの低減が可能で、CO2 の排出も大幅に削減できます。

〔 開催概要 〕

名 称：TOKYO PACK 2026 東京国際包装展

日 時：2026 年 10 月 14 日(水)～16 日(金)

会 場：東京ビッグサイト<東 1～3,7,8 ホール>

主 催：公益社団法人 日本包装技術協会

公式サイト：<https://www.tokyo-pack.jp/event/13994/>



〔 セキ株式会社 概要 〕

代表者：代表取締役社長 関 宏孝

創 業：1908 年 7 月

設 立：1949 年 3 月

所在地：〈松山本社〉愛媛県松山市湊町 7 丁目 7 番地 1

〈東京本社〉東京都渋谷区代々木 3 丁目 2 番 8 号

U R L：<https://www.seki.co.jp/>



松山本社



東京本社

【 本件に関するお問い合わせ 】

セキ株式会社 経営管理本部 副本部長 森岡洋平

〒790-8686 愛媛県松山市湊町七丁目 7 番地 1

TEL:089-945-0111 / FAX:089-932-0860